



家庭や地域と共に **A I** が飛び交う学び場<sup>あいがとう いいね</sup> をすべての子どもたちに

# はばたき

NO.26

— 2023年度 横手市立横手北小学校 学校報 —

令和5年10月 6日発行

室内でしたが

みんなで  
たべた

**鍋**

は最高でした

10月5日(木)、昨年、コロナ禍のために実施できなかった「なべっこ」を行いました。雨天のために室内での実施となり、調理も安全を考えて5、6年生だけで行いました。できあがったいもの子汁は、体育館と各階フロアに分かれて縦割り班ごとにいただきました。完食した班もあれば、たくさん残ってしまった班もあったようですが、いつもとは違う雰囲気での食事を楽しめたようです。この目に深めた班内のつながりは、この後、掃除などの班活動にいかされることと思います。



調理も、味見も、後片付けもがんばりました。5、6年生のみなさんご苦労様でした。

## 前期終業式を行いました

後期も笑顔で！  
夢いっぱい！

本日、体育館で「前期終業式」を行いました。

終業式は、学校生活の中で大きな節目の一つです。子どもたちは、校長の話や児童代表の発表を聞きながら、前期をふり返り、「自分から・誰とでも・じっくりと」頑張ってきたことを互いにたたえ合うことができました（児童代表の発表内容は裏面に掲載しています）。

本日お渡しした「通知表」は、お子さんのがんばりや成長の様子、これから先生と一緒にがんばっていくポイントをお知らせする資料です。ご家庭でも、一つの節目として、通知表を基に、先ずはお子さんのがんばりを認め、ほめてあげてください。そして、進級、進学するまでの半年間、何を頑張っていくかをお子さんと話し合ってみてください。よろしくお祈りします。

後期は10月12日(木)からです。みんなが笑顔で登校してくるのを楽しみにしています。

# びぶんからだれとでもびっくりとがんばりました

— 前期終業式の子もたちの発表 —

「ぜんきにがんばったこと」

2年3組 O A

ぼくは、算数のべんきょうをがんばりました。じっくり考えて、もんだいをときました。生かつかの「町たんけん」では、グループの友だちと力を合わせてけいかくを立てました。ぼくは、きゅう食センターに行きました。40人で4000人分をつくっているときいて、おどろきました。1人が100人分をつくっていることになりました。ぼくは、すごいなと思いました。これからもきゅう食をのこさず食べたいです。

大きな声でせんせいやみんなにあいさつすることもがんばりました。

本も63さつ読みました。こうきは、読書のもくひょうの120さつをこえたいです。

じ学もたくさんやりたいです。

「前期をふり返って」

4年1組 S Y

私が、前期でがんばったことは二つあります。

1つ目は運動会です。今年は大きな声を出して、おうえん合戦ができるようになりました。私は、自分たちのチームのゆう勝をめざして、おたがいにアドバイスをしながら練習しました。結果は2位でしたが、いっしょにがんばった友達がいることや、あきらめずにがんばることができたことに気づき、結果よりも大切なものがあるんだなあと思いました。

2つ目はクラブ活動です。私は絵が好きなので、イラスト・まん画クラブに入りました。クラブでは、学校の風けいやキャラクターをかいています。むずかしいときもありますが、友達と教え合うことで、色のぬり方などの発見をすることができ、もっとがんばろうと思えるようになりました。

この2つのことから友達がいることは、すてきなことだなあと思いました。これからもみんなと協力して学校生活を楽しくすごしたいです。

来週から後期になります。後期では、じゅ業でせつきよく的に発表するなど、まちがうことをこわがらずに勇気をもって、自分の考えを伝えることを心がけたいと思います。

「前期をふり返って」

6年2組 S S

春休み。ぼくは6年生になったら絶対に頑張ることを決めました。それは、授業中、手を挙げて発表する回数を増やすということです。5年生のときは、自信がなくてあまり手を挙げて発表できませんでした。そこで、自信をもてるように、家庭学習に力を入れることにしました。ぼくは絵をかくことが好きなので、社会科や理科はなるべくイラストを書いて繰り返し復習しました。大切なところは、文字の大きさや色を変えてみたり、歴史上の人物に吹き出しを描いてマンガ風にしてみたりして覚えめました。社会科の授業では、前の時間に学習したところを確認する場面で、すらすら答えられるようになり、少しずつ手を挙げて発表する回数も増えてきました。苦手な国語や算数でも、テストの点数が前よりもよくなりました。これからも手を挙げて発表できるよう、後期も家庭学習をがんばっていきたくと思います。

もう一つ、最上級生として頑張ろうと思ったことは、全校のみんなが安全に学校生活を送れるようにするということです。1年生が入学して間もないころ、どうしているか気になり、2階に行ってみたことがありました。すると、走り回っている子やしゃがんで泣いている子など、大さわぎでした。危ないと思ったので、友達と話し合っ、走り回るなど危険なことをしているところを見かけたら、注意することにしました。でも、最初のうちは、一向にやめてくれませんでした。どうしたら、6年生の言うことを聞いてくれるのだろうかと考えました。名前を呼んであいさつをすると返してくれることを思い出し、1年生の名前を覚えることにしました。名前を覚えるために、一緒に遊ぶようにもしました。今では、ぼくのこと覚えてくれて、移動教室で2階へ行くと、手をふってくれることもあります。ろう下を走っている子を見かけたとき、「危ないから歩こうね」と言うと、背筋をピンとして歩くようにもなってくれました。これからも、北小のみんなが楽しく安全に過ごせるよう、一緒に遊ぶことを続けながら、楽しく安全に学校生活を送ることの大切さを伝えていきたくと思います。